

高石市教育委員会臨時会会議録

(令和3年2月臨時会)

開会及び閉会の年月日時

開 会	令和3年2月17日 午後4時10分
閉 会	令和3年2月17日 午後4時45分

会議に出席した者の職及び氏名

委 員	教 育 長 : 木 寄 茂 巳 委 員 : 西 中 隆 委 員 : 佐 野 慶 子 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一
事務局職員	教 育 部 長 : 細 越 浩 嗣 教 育 部 次 長 : 上 田 豊 明 教育部こども未来室長 : 神志那 隆 教 育 総 務 課 長 : 西 川 浩 二 社会教育課長兼公民館長 : 佐 藤 信 雄 学 校 教 育 課 長 : 松 田 訓 一 学 校 教 育 課 参 事 : 山 崎 陽 子 こ ども 家 庭 課 長 : 家 村 美 雪 子 育 て 支 援 課 長 : 小 林 弘 典 教 育 総 務 課 主 事 : 中 阪 三 明

議題及び議事の要旨及び議決事項

・ 議案第1号 市長からの意見聴取について

教育総務課長	<p>議案第1号については、令和3年第1回高石市議会定例会提出議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長からの意見を求められた1ページ記載の3議案について、教育委員会に係る部分について、市長からの意見聴取に際し、異議ない旨回答することを諮るものです。</p> <p>議案の内容について、順に説明します。</p> <p>令和2年度一般会計補正予算については、まず6ページの小学校費において、消耗品費、空調設備設置工事費、トイレ大規模改修工事費を計上しています。</p> <p>また、同様に、7ページの中学校費においても、消耗品費、トイレ大規模改修工事費、空調設備設置工事費を計上しています。</p> <p>これは、国の3次補正を活用するもので、消耗品費については、コロナ感染症対策の費用として、アルコールや不織布マスク、石けん等の消耗品の費用を計上しています。</p> <p>歳入については、特定財源として、4ページの中段の教育費国庫補助金の学校保健特別対策事業費補助金を2分の1補助で計上します。</p> <p>次に、小中学校費の空調工事ですが、小学校については、高石小学校において、新設するものです。</p>
--------	---

	<p>また、中学校については、平成20年度に普通学級に設置したもので、主に老朽化の進んでいるものについて更新を実施するものです。</p> <p>トイレ工事については、基本的に3階建てで、3層にトイレがある学校において、3層のうち1層しか洋式化ができていないところについて、もう1層行います。</p> <p>また、4階建てについては、まだ2層しかできていない、4階のうち1階と3階しかできていないという場合は、2階、4階、いずれかの洋式化を実施していきます。</p> <p>小学校においては、羽衣小学校、高陽小学校、取石小学校、東羽衣小学校、加茂小学校の5校、中学校においては、取石中学校の洋式化を実施するものです。</p> <p>財源については、4ページの国庫補助金の学校施設環境改善交付金と、5ページの市債の小中学校の空調設備設置事業債、トイレ整備設置事業債を活用するものです。</p> <p>なお、これら3事業については、国の3次補正を活用することで、経費は繰越しを行い、令和3年度において執行するものです。</p> <p>次に、7ページの社会教育費の市民文化会館費において、委託料で指定管理者休館等支援分として975万6,000円計上しています。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者が減少したことにより指定管理に係る収支が赤字になるため、過去の収支状況を考慮して補填を行うものです。</p> <p>そのほかに、補正予算においては、地域創生交付金充当先が確定したことから、一般財源を減額し、国庫支出金の計上を行った財源の組替えを行ったものがあります。</p> <p>補正予算については、以上です。</p> <p>引き続き、当初予算について、説明します。</p> <p>新規事業について、説明します。</p> <p>まず、最初に、19ページの報酬において、産業医報酬24万8,000円計上しています。これは、教育委員会において、安全衛生委員会設置に伴う産業医配置に係る報酬です。</p> <p>次に、21ページの報償費において、校区再編検討委員会委員報償費14万4,000円計上しています。これは、先の総合教育会議において議論いただいた校区再編検討に係る委員報償費です。</p> <p>次に、49ページの委託料において、指定管理者委託料2,070万円を計上しています。これは、高師浜総合運動施設の指定管理者委託料です。また、2つ下の高師浜総合運動施設管理棟等実施設計業務委託料1,750万円を新規事業として計上しています。</p> <p>そのほか、例年どおりの経費として、教育指導の充実や学校環境整備、青少年対策、成人対策、遺跡等発掘調査、図書館、市民文化会館、総合体育館等の経費について計上しています。</p> <p>最後に、第5次高石市総合計画基本構想についてです。</p> <p>これは、本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るために、第5次高石市総合計画基本構想の策定にあたり、高石市総合計画条例第4条の規定に基づき、市議会の議決を求めるものです。</p> <p>教育委員会関係としては、16ページの基本構想、第1章、第3節、目標1、「明日の担い手を育む」を中心に記載があります。</p> <p>議案の説明は、以上です。</p>
吉村委員	<p>最初の補正予算の中学校、小学校のトイレ整備事業費ですけれども、これは今まで2年前から実施していて、今回、また、追加で工事とのことですが、これで洋式化率がどれぐらいまで上がるのですか。</p>

教育総務課長	現状、小学校は洋式化率が58%が70%に、また、中学校は54%が59%に、それぞれ洋式化率が改善できる考えています。
吉村委員	説明にあったように、3階建ての場合は、3層あったら今回2層までと。最終的には3層ともやる予定にはなっているのでしょうか。
教育総務課長	今回の事業としては、クラスの配置の状況を踏まえて、構造上、児童生徒がより効率よく学校生活を活用できる箇所に洋式トイレを設置することと、学校運営の影響を踏まえて今回の改修場所を設定して改修を行うものです。今後も、洋式化に関しては、進めていきたいと考えています。
吉村委員	要するに、クラス数が増減したりとか、その辺によって今後は考えていくということですか。それか老朽化したら多分直すとか。取りあえず、今回の補正で、今後はまた考えるということで、来年度以降は、今は未定ということですね。
木寄教育長	吉村委員聞いておられるのは、今回の補正予算で改修をすると何パーセントになりますと、これは分かりましたと、将来どこを目指しているんですかという質問だと思いますので、答弁できる範囲でして下さい。
教育総務課長	洋式化については、児童生徒が洋式便器を問題なく使えるような形で改善を行っていくところですので、洋式化については、今後、さらなる改善を進めていきたいと考えています。
吉村委員	最初、洋式化の工事の話が出たときも言ったけれども、今の子は洋式でないとできない人が非常に多いので、できるだけどの学年でも使いやすいように改修していただければと思います。
西中委員	7ページの説明で、市民文化会館費の指定管理料でおよそ1,000万ほどの補正をしているんですが、指定管理業者に委託をしたときに休館などで減収が出たとき、規約で市が助成するというようなことになっているわけですか。 それからもう一つは、国からそういうことについての助成金なり補助金というのは全く出ないんですか。これ、地方自治体で全部責任を持って補填せんといかんということになるんですか。
社会教育課長	今回の予算の計上ですけれども、これは基本協定の中でリスク分担という考え方がありまして、コロナでのこういう緊急事態の場合は、不可抗力ということですので、市と指定管理事業者と双方で協議することになっています。今回、協議した結果、これだけの負担を負うということになったものです。 それから、この財源ですけれども、これは国のほうのコロナに関する交付金というのがありますので、それを充当する予定になっています。
西中委員	管理指定をやっているのはここだけではないので、これ以外で特にないんですか。市民文化会館だけですか。
社会教育課長	社会教育施設としては、この市民文化会館と総合体育館この2つです。
西中委員	総合体育館のほうは、補填することはないわけですね。
社会教育課長	総合体育館も同じページの下のほうに440万9,000円で計上しています。これが体育館の分になります。
西中委員	わかりました。
佐野委員	19ページに産業医報酬で24万8,000円計上しているけれども、これは、私が在職していたときは、この先生に現場の先生方がいろいろ悩んだときに相談するというシステムであったように思いますけれども、今もそれは続いていますか。

学校教育課長	<p>今現在、佐野委員の指摘のとおり、市の人事課が統括しています産業医のほうを使わせていただいている実態は変わりません。</p> <p>ただ、今回のこの産業医報酬については、教育委員会、学校現場専用で産業医さんに来ていただくものと考えています。これは、昨今の教職員の働き方改革、超過勤務が非常に多いという問題を受け、本市としても昨年度途中から校務支援システムを入れ、実態が正確に把握できるようになりました。それに伴って、次年度、安全衛生委員会を立ち上げ、その中で、これまでは、委員おっしゃった人事課予算の産業医のほうを使わせてもらっていたのを、もっと積極的に長時間勤務している者には、校長の面談等を通して積極的に相談を受けるよう勧奨していくということで、教育委員会の予算で計上しています。</p>
佐野委員	<p>とてもいい予算だと思いますので、現場の先生方にも周知していただいて活用していただければと思います。よろしくお願いします。</p>
西中委員	<p>今日、高南中学校に行き、子供達の机の横に何かプラスチックのこういう板のようなものがぶら下げてあるので、初めて見たので、何かと子供に聞いてみたら、給食のときにパーティションで仕切るんですということでした。こういう費用というのは、結構コロナ対策で必要だと思うんですが、それは国のほうから全部助成していただけるわけですか。</p>
教育総務課長	<p>今年度も先ほど申しました消耗品関係の補助金がありまして、その補助金を活用し、小、中学校全てにパーティションを整備しました。</p> <p>今回もこういう形で補助金ありますので、また、補充であったりとかもこの補助金を活用できるものと考えています。</p>
西中委員	<p>市の持ち出しはないですか。</p>
教育総務課長	<p>補助金は2分の1補助ですので、折半というような形になります。ただし、今年分に関しては、残りの市負担分も先ほど申しました地域創生交付金の充当がありましたので、今年分は、持ち出しはなく整備できています。</p>
西中委員	<p>折半というと、市にいろいろ財政負担がかかるんでしょうね。コロナは全然予測できないことやから。それは大丈夫なんですか。</p>
教育総務課長	<p>今年分については、2分の1が補助金で残りの2分の1が地方創生臨時交付金という別の交付金を充当したということです。</p> <p>来年度についても、そういった部分については、まだ確定的な情報はありませんが、補助金が2分の1、それ以外に今回のような交付金等がありましたら、市の負担のない形で整備も可能と考えています。</p>
木寄教育長	<p>私のほうから1点だけ質問します。</p> <p>トイレの整備の件ですけれども、ちょっと言いにくいような答弁もあったと思いますが、私としたら高い率で整備してほしいなと思います。やっぱり子供たちのために、できれば小中学校100%に近い形できれいな乾式トイレを整備してほしいと思います。</p> <p>以前マスコミでも出ていたけれども、学校のトイレがきれいになると子供たちも、学校に行く気持ちがやっぱり変わってくるんだというような報道も大分以前あったと思いますので、そういった取組、もちろん財源の確保も必要ですので、当然年次計画もいるでしょうけれども、そういった部分もお願いしたいと思っています。</p> <p>それと、私も教育部長をさせていただいていたときに、最初にトイレ工事を行ったときに、ある小学校で工期が遅れて、子供たちにも先生方にもかなり迷惑をおかけして、議会でもいろいろ各議員のほうから質問いただいた経過もありますけれども、今回、補正予算で繰越しという話があったと思いますが、工期的なもの、その辺はいかがです</p>

	か。
教育総務課長	工期としては、学校への影響を抑えていくという意味で、夏季休業中を中心に実施を考えています。
木寄教育長	それと、いつとき、工事の騒音の関係もあって、ある学校では住宅地が近いということもあって苦情も入ったという経過もあったと思いますが、今回の工事の内容は大丈夫なんですか。
教育総務課長	やる場所によって音もありますけれども、騒音に関しては、なるべく近隣であったり、また、学校のほうに影響を与えない形で日程の設定して進めていきたいと考えています。
木寄教育長	工事が必要なのは分かっていますけれども、学校の授業第一ですから、子供たち、それから先生方のほうにできる限り、授業に支障がないような形で集中的な工事、夏季休業期間中という話もありましたので、できる限りそこへ収まるような形で工期の打合せ等もしっかりやってもらいたいと思います。
西村委員	洋式化の件で100%を目指してという話やったんですけども、以前聞いたときに和式トイレも子供たちに経験させないといけないので、一定数残す必要もあるんじゃないかという話を聞いた記憶があるんですが、その考え方というのは、今も維持されているのかどうか、その辺はどうなのでしょう。
教育部長	その辺は変わりありません。洋式化を100%を目指すという中で、現実的に100%完全に洋式化はなかなか難しい中で、和式のトイレも残るのが、日本の文化の中にもありますので、若干それも踏まえて、洋式化はできるだけ率を上げていくということで、今後は国の予算も有効活用できるような形で計画的に準備をしていきたいと考えています。
西村委員	そういう意味では、今、現実的に考え方としても、一定数は残っていく考え方は変わらない。
教育部長	それでいくんではないかと考えています。
木寄教育長	かなり今、各家庭のトイレ事情も、正確な率は分かりませんが、洋式がほぼスタンダードになりかけている中で、そういう生活の中で子供たちが育っていることもありますので、和式の考えも十分分かりますので、そういう今現在の生活様式もしっかり考えていただいた上で、計画立てていただけたらと思います。
西中委員	今の子供のそれぞれの家庭というのはほとんど洋式やないですか。洋式がスタンダードで、和式は日本の文化ということなんですけれども、できたらそういうのを残さずに100%目指してやるほうがいいんじゃないかなと思います。駅のトイレなんかでもほとんど洋式化していますから。
木寄教育長	その辺、教育委員さんの意見もしっかり拝聴させていただいて、事務局のほうでしっかり検討いただけたらと思いますので、よろしくお願います。
採決	可決